

# 監査報告書

社会福祉法人 桜梅会  
理事長 山崎要志 殿

平成 25 年度決算監査を平成 26 年 5 月 14 日（水）に、丹波桜梅園会議室に於いて実施致しました。

提出になりました平成 25 年度決算書に基づく各会計諸帳簿、証拠書類、預貯金証書、利用者預かり金帳簿、他関係書類を照合・審査した結果、正確明瞭に記帳されており、各会計共、決算計数は、何れも相違なく、本決算書は正確なものと認めます。

尚、決算の内容について、補足させていただきます。

25 年度も、本部会計におきましては、保護者会と後援会、更には、何時も桜梅園の事を気に掛けて頂いている、有志の方々から多額の寄付金等を頂き、各位のご支援に対し心から感謝申し上げ、厚く御礼を申し上げます。

地域に開かれた施設づくりを目指して、丹波桜梅園「オープンディ」の実施や、更には、小学生との野菜収穫体験交流等々、積極的に取り組んで頂き、又、事故防止員会を立上げる等、利用者が安心して楽しく生活が送れる様、支援体制の強化をされました事を評価致します。又、役員部会よりの提言を基にして、各部所において「地域に開かれた」「地域に愛され」「地域から応援して頂ける」施設づくりに、尚一層のご尽力頂きます事をお願い致します。

作業関係においては、各作業班において、生産された生産物を、保護者や職員。又、町内の商店様にも購入頂き、道の駅や丹波マーケス、ぶらり嵐山のバザー等でも積極的に販売活動を展開され、更には、アルミ缶や廃油の回収、内職製品の納品等にも利用者と共に地域へ出かけ、地域の方々との触合いや交流にも繋がる取組みを実施されています事にも合わせて感謝を申し上げます。

社会福祉法人の在り方等々が、厳しく議論される中、ケアホームのグループホームへの一元化、更には、4 月から消費税が 8% となり、26 年度、立上げの相談支援事業も含め、今後の制度等の成行きを確りと見据えて、役職員が一丸と成って課題解決に取り組まれます事を願い、監査の一端を述べ監査報告と致します。

平成 26 年 5 月 17 日

監事 川口 忠夫 

監事 井上 茂 